

計測展 2010 OSAKA

終 了 報 告 書



計測と制御で創る、未来の地球
～エネルギー革新技術への提言～

主催 社団法人 日本電気計測器工業会

協力 社団法人日本電気制御機器工業会

はじめに

拝啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の「計測展 2010 OSAKA」の開催に当たりましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして盛況裡に無事終了致しました。これもひとえに出展者各位、ご支援の関係官公庁のご協力によるものと、主催者といたしまして深く感謝しております。

ここに、本展の開催結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今後共、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

敬 具

平成22年12月

社団法人 日本電気計測器工業会

目 次

はじめに	1
開催概要	2
会場配置図・出展企業／団体一覧	3
基調講演／ラウンドテーブルセッション／フォーカスセッション／JEMIMA 委員会セミナー／テクニカルセミナー	4～6
プロモーション活動	7
来場者アンケート結果	9～11

開催概要

1. 開催概要

- (1)名称・テーマ 名称：[和文]計測展2010 OSAKA
[英文]Measurement and Control Show 2010 OSAKA
テーマ：「計測と制御で創る、未来の地球～エネルギー革新技術への提言～」
- (2)会期・会場 会 期：2010年10月6日(水)～8日(金) 3日間
開催時間：10：00～17：00
会 場：グランキューブ大阪(中之島・大阪国際会議場)
- (3)主 催 社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)
- (4)協 力 社団法人 日本電気制御機器工業会
- (5)後 援 近畿経済産業局、大阪府、大阪市、大阪商工会議所
- (6)協 賛 (財)大阪科学技術センター、(社)関西電子工業振興センター、(社)計測自動制御学会、
(独)産業技術総合研究所、システム制御情報学会、(独)製品評価技術基盤機構、
(社)電子情報技術産業協会、(社)電子情報通信学会、日本電気計器検定所、
(社)日本電機工業会
- (7)入場料 1,000円(消費税込)※招待券持参者およびWebサイト事前登録者は無料
- (8)併催事業 基調講演、ラウンドテーブルセッション、フォーカスセッション、
JEMIMA委員会セミナー、テクニカルセミナー
- (9)実行委員会社 アンリツ 株式会社 株式会社 チノー 山里産業 株式会社
株式会社 岡崎製作所 株式会社 堀場製作所 横河電機 株式会社
島津システムソリューションズ株式会社 株式会社 山武
- (10)運営協力会社 株式会社 ツーサム

2. 開催結果概要

- (1)展示規模 ①総数：44社(機関・委員会含) 125小間
②企画別内訳
- | 企 画 名 | 出 展 社 数 | 小 間 数 |
|--------------|---------|-------|
| 1)製品展示 | 31 | 94 |
| 2)トライアルブース | 3 | 3 |
| 3)関連機関コーナー | 3 | 3 |
| 4)書籍販売コーナー | 1 | 20 |
| 5)JEMIMAコーナー | 6 | 5 |
| 合 計 | 44 | 125 |
- (2)併催事業規模・聴講者数 ①基調講演：3テーマ 聴講者数：234名(1テーマ平均78名)
②ラウンドテーブルセッション：1テーマ 聴講者数：125名
③フォーカスセッション：2テーマ 聴講者数：172名(1テーマ平均86名)
④JEMIMA委員会セミナー：4委員会・4テーマ 聴講者数：266名(1テーマ平均66.5名)
⑤テクニカルセミナー：7社・13テーマ 聴講者数：756名(1テーマ平均58.2名)
⑥展示ゾーンセミナー(臨時)：JEMIMA・1テーマ×3回 聴講者数：120名(1回平均40名)
- (3)来場者数 6,341名(内、海外来場者数：15名)

	10月6日(水) (晴 れ)	10月7日(木) (晴 れ)	11月28日(金) (曇 り)	合 計
1)展示会場来場者登録数	1,343	1,372	1,831	4,546
2)セミナー関係受講者数	506	458	709	1,673
3)報道関係者	8	1	6	15
4)VIP・来賓	66	16	25	107
来場者数	1,923	1,847	2,571	6,341

会場配置図・出展企業／団体一覧

1. 会場配置図



2. 出展企業／団体一覧

出展企業・団体名	ブースNo.	出展企業・団体名	ブースNo.
アルファ・エレクトロニクス(株)	15	(株)テストー	23
アンリツ(株)	2	東亜ディーケーケー(株)	13
岩通計測(株)	16	日本電気計器検定所	8
インターリハ(株)	29	(株)パルソフトウェアサービス	30
ABB (株)	11	(株)PcVue Japan	24
エスオーエル(株)	34	日置電機(株)	26
NECパーチェシングサービス(株)	31	(株)ピーアンドエフ	33
(株)エヌエフ回路設計ブロック	3	フリーシステムズジャパン(株)	14
エムティティ(株)	24	(株)豊光社	38
(株)岡崎製作所	37	(株)堀場製作所	25
京西テクノス(株)	27	ミッシェルジャパン(株)	32
京都EIC (株)	4	(株)山武	20
(社)計測自動制御学会	6	山里産業(株)	28
島津システムソリューションズ(株)	5	横河電機(株)	10
新光電機(株)	22	横河メータ&インスツルメンツ(株)	9
(株)セカンドセクション	35	リオン(株)	36
創価大学	7	テーマ展示ゾーン	21
大陽工業(株)	38	[JEMIMA]	
(株)田中電気研究所	39	(社)日本電気計測器工業会	18
(株)チノー	1	校正事業推進委員会	19
中央電子(株)	12	戦略的基盤技術検討委員会	17

(五十音順)

基調講演

2010年10月6日(水)～8日(金) 10:30～12:00 会場：1009会議室

10月6日(水)

テーマ：産業構造ビジョン2010

～日本産業の「行き詰まり」を直視し、戦後の「成功の神話」から脱却するための「4つの転換」～

講師：経済産業省 経済産業政策局 産業再生課 課長補佐
金指 壽 氏

【講演要旨】

世界の主要プレーヤーと市場の変化に遅れた日本産業の「行き詰まり」を直視し、戦後成長の「成功の神話」から脱却するための、政府・民間を通じた「4つの転換」を提言。自動車産業への過度な依存、技術で勝って、ビジネスで負ける日本産業の抱える問題、「グローバル化＝空洞化」からの脱却、各国政府の政策の変化など、世界で行われているゲームの本質を明らかにし、官民で必要な対応策を明らかにする。

10月7日(木)

テーマ：低炭素社会に向けた大阪ガスの技術開発

講師：大阪ガス株式会社 技術戦略部長
深野 行義 氏

【講演要旨】

天然ガスは、環境性・供給安定性に優れた有用なエネルギーであり、低炭素社会の実現に向けて重要な役割を期待されている。当社では、天然ガスの高度利用、再生可能エネルギーの活用、蓄積した技術を活用した新しい環境事業の展開といった3つの取り組みで技術開発をすすめており、本講演では、「スマートエネルギーネットワーク」や「家庭用燃料電池」への取り組み事例について紹介する。

10月8日(金)

テーマ：新計量システムの実用化に向けた取り組み

講師：関西電力株式会社 電力流通事業本部
ネットワーク技術高度化推進グループ チーフマネージャー
松浦 康雄 氏

【講演要旨】

当社は、お客さまサービスの向上と業務運営の効率化を目指し、新計量システムの実用化に向けた取り組みを進めている。新計量システムは、お客さまのご家庭に設置している電力メーターを、通信機能を持つ新型メーターに交換することで、計量関係業務を営業所などから遠隔で行うことができるシステムである。本講演では、これまでの開発の経緯や、現在の試験導入の状況等について概説する。

ラウンドテーブルセッション

2010年10月6日(水) 12:45~14:45 会場：1009会議室

10月6日(水)

テーマ：エネルギー／環境技術で日本が勝つために

激化する国際競争において、日本はいかにして勝つことができるのか。エネルギー環境ビジネスにスポットをあて、日本を代表する企業や専門家、経済産業省が本音で議論を交わします。日本が抱える現在の課題を明らかにし、将来の方向性を見出す。

ラウンドテーブルセッション参加者リスト

経済産業省 経済産業政策局 産業再生課 課長補佐 金指 壽 氏	三菱自動車工業株式会社 EVビジネス本部 EVビジネス開発部 上級エキスパート 和田 憲一郎 氏	パナソニック株式会社 デジタル・ネットワーク開発センター エコマネジメント開発室 室長 新谷 保之 氏
一橋大学 イノベーション研究センター教授 江藤 学 氏	JEMIMAエネルギー環境政策委員会 委員長 石隈 徹 氏	ファシリテータ JEMIMA 副会長兼関西支部長 堀場 厚 氏

フォーカスセッション

2010年10月7日(木)・8日(金) 12:30~13:30 会場：1009会議室

10月7日(木)

テーマ：創エネ・省エネで築く低炭素社会

講師：シャープ株式会社 研究開発本部
エコハウス事業化推進センター 所長
松岡 継文 氏

【講演要旨】

当社では「エコ・ポジティブカンパニー」を掲げ、太陽電池等の創エネや家電機器の省エネ化やLED照明の実用化等を推進している。これらの中の新しい取り組みとして、「エコハウス」があり、太陽電池、蓄電池、直流給電、エネルギーマネージメント等の導入で、一般家庭での環境負荷をゼロにすることを目指しており、またエコハウスを情報ネットワークと融合し家電と連携させることによる各種サービスも検討している。更に、スマートグリッド関連への取り組みも紹介する。

10月8日(金)

テーマ：次世代モビリティへの展望
～社会変化とスマートグリッド～

講師：日産自動車株式会社
総合研究所 エキスパートリーダー
岸 則政 氏

【講演要旨】

環境問題・エネルギー問題等から自動車もあたらしい局面を迎えている。社会変化の対応として当社もリーフEVを発売している。今回はEVとスマートグリッドの関係についてもふれる。

JEMIMA 委員会セミナー

2010年10月6日(水)~8日(金) 会場：1008会議室／1009会議室

10月6日(水)

1009会議室	
15:30 └ 16:45	電子測定器委員会 スマートグリッドに必須の各種電池の測定・評価技術の紹介

10月7日(木)

1008会議室	1009会議室
13:45 └ 16:45	14:00 └ 16:45
校正事業推進委員会 広がる校正サービス2010 ～計量標準とJCSSビジネスの新たな展開～	PA・FA計測制御委員会 ①工業用無線技術の概要と導入 ②機能安全の新しい動き ③生産制御システムセキュリティの技術動向

10月8日(金)

1009会議室	
14:00 └ 16:45	環境グリーン委員会 EUに始まり世界に広がる、計測・制御機器を取り巻く環境関連規制

テクニカルセミナー

2010年10月6日(水)～8日(金) 会場：1004～1005会議室／1008会議室

10月6日(水)

1004～1005会議室		1008会議室	
14:45 }	エコデザインに向けた電力測定ソリューション 横河メータ&インスツルメンツ株式会社	14:45 }	「エネルギーの見える化」で「楽しく楽に」省エネ推進 株式会社山武
15:30		15:30	
16:00 }	計装システム最新事情 ー汎用シーケンサによるシーケンス制御とループ制御の統合ー 社団法人計測自動制御学会	16:00 }	新産業における装置の競争力を上げる 装置エンジニアリングシステムの活用について 株式会社山武
16:45		16:45	

10月7日(木)

1004～1005会議室		1008会議室	
13:30 }	新型油膜検知器(水面の油膜検知警報計) 東亜ディーケーケー株式会社		
14:15			
14:45 }	これからの工業用の燃焼安全制御機器の展開 株式会社山武		
15:30			
16:00 }	新時代を支えるVigilantPlant Services™と その成功事例 横河電機株式会社		
16:45			

10月8日(金)

1004～1005会議室		1008会議室	
13:30 }	ISA100.11a無線伝送技術の最新動向と当社の取組み 横河電機株式会社	13:30 }	測る技術で実現する、車社会の安全と環境 株式会社堀場製作所
14:15		14:15	
14:45 }	オープン指向制御システムMETRIS-G4 島津システムソリューションズ株式会社	14:45 }	メンテナンスコスト1/2を実現する工業用pH電極 株式会社堀場製作所
15:30		15:30	
16:00 }	当社のフィルムトータルソリューション 横河電機株式会社	16:00 }	現場密着型プロセス制御問題解決 ー省エネルギー制御を中心として 株式会社山武
16:45		16:45	

プロモーション活動

1. ダイレクトメール、その他印刷物

(1) 出展者配布

DM (案内状)、ポスター

(2) 主催者発送

「計測展2008 OSAKA」、「計測展2009 TOKYO」来場者リストによるDM発送

2. 告知広告

〈雑誌・新聞 記事掲載〉

産経新聞、日刊工業新聞、電波新聞、日本計量新報、MICE JAPAN、計測技術、ビジネスアイ エネコ、
用水と廃水、JEMIMA会報

3. 公式Webサイト

展示会の公式サイトを開設し広く情報を公開し、事前登録を受け付けるとともに、
出展者のホームページへのリンクを設定した。

○日本電気計測器工業会 <http://www.jemima.or.jp>

4. インターネット、メール配信

・前回来場者向けメール配信

「計測展2008 OSAKA」、「計測展2009 TOKYO」にメール配信を行い、開催告知と来場の促進を
図った。

5. 来場者向け発行物

公式ガイドブック



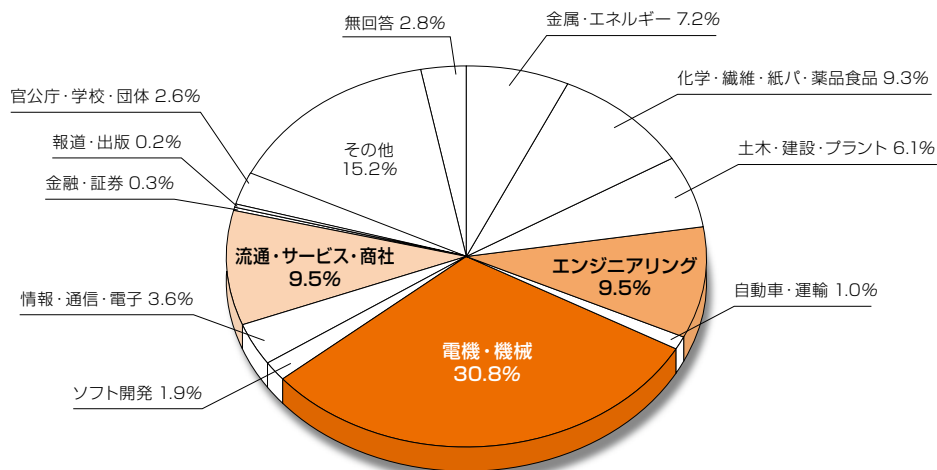
来場者アンケート結果

アンケート結果概要

- 来場者を業種で見ると最も多かったのは「電機・機械」30.8%、次いで「その他」15.2%、「流通・サービス・商社」9.5%となった。
⇒p.9「入場者登録カード結果」参照
- 来場者を職種で見ると最も多かったのは「営業・企画・調査」31.4%、次いで「設計・開発」23.1%となった。
⇒p.9「入場者登録カード結果」参照
- 来場者の81.0%（「大阪」54.2%、「兵庫」14.5%、「京都」7.8%、「その他の関西地区」4.5%）が関西圏勤務者であった。また、「中国・四国」5.6%、「関東」3.6%などの来場者があることも確認された。
⇒p.10「入場者登録カード結果」参照
- 来場者を役職で見ると56.0%が何らかの役職に就いていることがわかった。
⇒p.10「入場者登録カード結果」参照
- 「最新技術動向の情報収集」のために来場した方が、来場者全体の41.0%
「最新技術動向の情報収集」以外では「購入計画のための情報収集」13.7%、「導入・購入するための比較検討」10.7%、「競合他社の情報収集」8.7%と、導入・購入過程における様々なシーンで計測展2010 OSAKAが役立っていることがわかった。また、出展関係者が来場者の8.2%を占めている。
⇒p.11「来場者アンケート結果」参照
- 来場者の84.8%が、計測展2010 OSAKAの内容を「満足」と評価。
来場者の12.7%が「大いに満足」、72.4%が「満足」と回答し、来場者の満足度の高さを裏付けている。
⇒p.11「来場者アンケート結果」参照
- 計測展2010 OSAKAに関する情報入手の手段で最も多かったのは、「出展者の案内状」56.4%、次いで「JEMIMAの案内状」19.8%、「JEMIMA Webサイト」5.7%となった。
⇒p.12「来場者アンケート結果」参照
- 計測展への来場経験を聞いたところ、初めての来場者が50.4%、過去に来場経験のある来場者が49.2%となった。
⇒p.13「来場者アンケート結果」参照
- 来場者全体の97.4%が次回の計測展への「来場」を希望。
来場者の55.4%が「是非来場したい」、42.0%が「未定」と回答し、計測展に対する来場者の期待の高さを裏付けている。
⇒p.13「来場者アンケート結果」参照

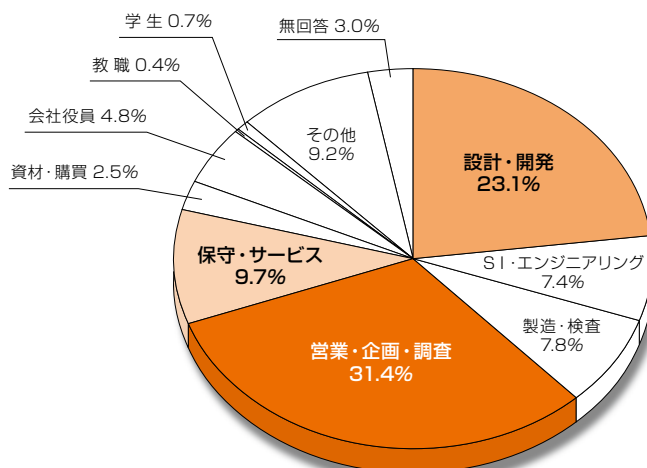
Q. あなたが所属する会社の業種についてお答え下さい。(ひとつに○)

	n=4370	%
金属・エネルギー	314	7.2
化学・繊維・紙パ・薬品食品	406	9.3
土木・建設・プラント	267	6.1
エンジニアリング	416	9.5
自動車・運輸	43	1.0
電機・機械	1348	30.8
ソフト開発	83	1.9
情報・通信・電子	157	3.6
流通・サービス・商社	415	9.5
金融・証券	12	0.3
報道・出版	10	0.2
官公庁・学校・団体	112	2.6
その他	663	15.2
無回答	124	2.8



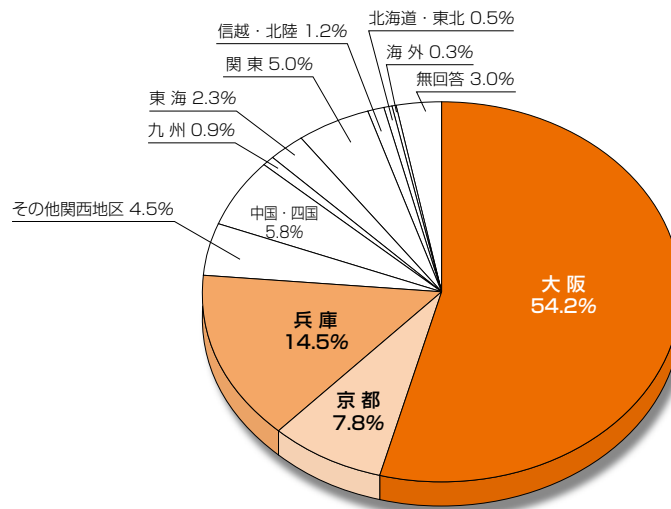
Q. あなたの職種についてお答え下さい。(ひとつに○)

	n=4370	%
設計・開発	1011	23.1
SI・エンジニアリング	322	7.4
製造・検査	342	7.8
営業・企画・調査	1373	31.4
保守・サービス	426	9.7
資材・購買	108	2.5
会社役員	208	4.8
教職	19	0.4
学生	31	0.7
その他	401	9.2
無回答	129	3.0



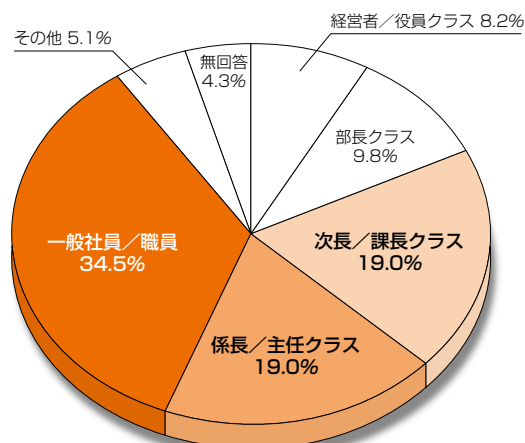
Q. あなたの勤務地についてお答え下さい。(ひとつに○)

	n=4370	%
大阪	2369	54.2
京都	339	7.8
兵庫	634	14.5
その他関西地区	197	4.5
中国・四国	255	5.8
九州	39	0.9
東海	100	2.3
関東	217	5.0
信越・北陸	54	1.2
北海道・東北	21	0.5
海外	15	0.3
無回答	130	3.0



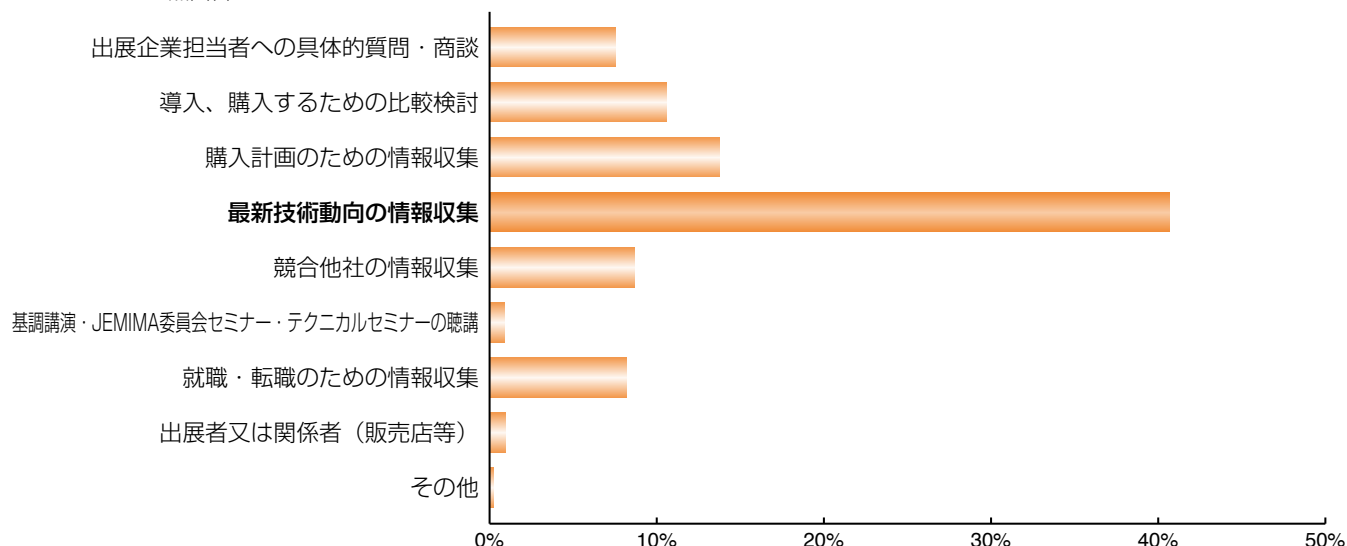
Q. あなたの役職についてお答え下さい。(ひとつに○)

	n=4370	%
経営者／役員クラス	360	8.2
部長クラス	430	9.8
次長／課長クラス	831	19.0
係長／主任クラス	832	19.0
一般社員／職員	1508	34.5
その他	222	5.1
無回答	187	4.3



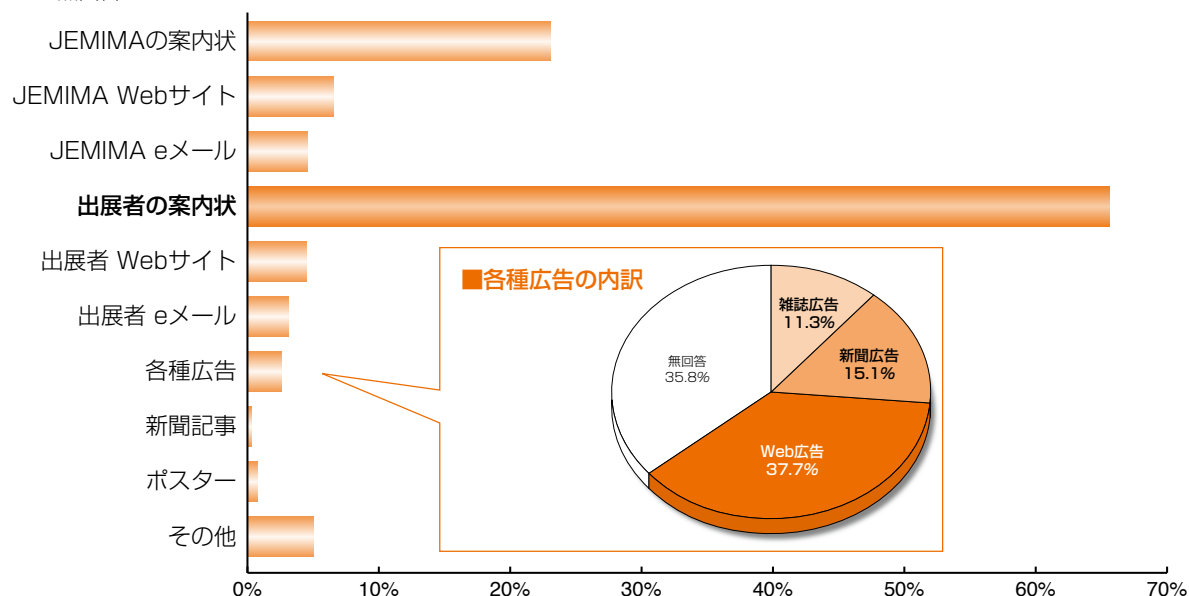
Q. あなたが「計測展 2010 OSAKA」に来場した目的で近いものはどれですか。(いくつでも)

	n=3163	%
出展企業担当者への具体的質問・商談	239	7.6
導入、購入するための比較検討	340	10.7
購入計画のための情報収集	439	13.9
最新技術動向の情報収集	1296	41.0
競合他社の情報収集	275	8.7
基調講演・委員会セミナー・テクニカルセミナーの聴講	251	7.9
就職・転職のための情報収集	30	0.9
出展者又は関係者(販売店等)	260	8.2
その他	31	1.0
無回答	2	0.1



Q. あなたは「計測展 2010 OSAKA」に関する情報を次のどれから入手しましたか。(いくつでも)

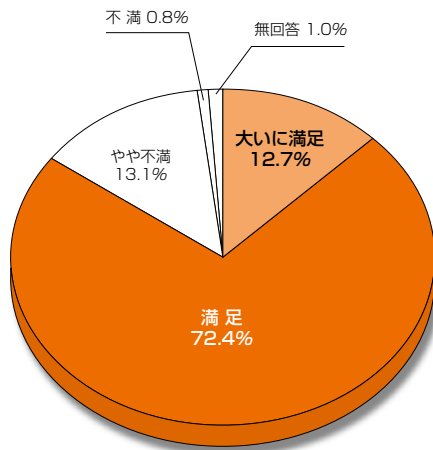
	n=2435	%
JEMIMAの案内状	482	19.8
JEMIMA Webサイト	138	5.7
JEMIMA eメール	95	3.9
出展者の案内状	1374	56.4
出展者 Webサイト	93	3.8
出展者 eメール	66	2.7
各種広告(雑誌広告、新聞広告、Web広告)	53	2.2
新聞記事	8	0.3
ポスター	16	0.7
その他	105	4.3
無回答	5	0.2



Q. 次の企画をどの程度満足されましたか。(それぞれひとつに)

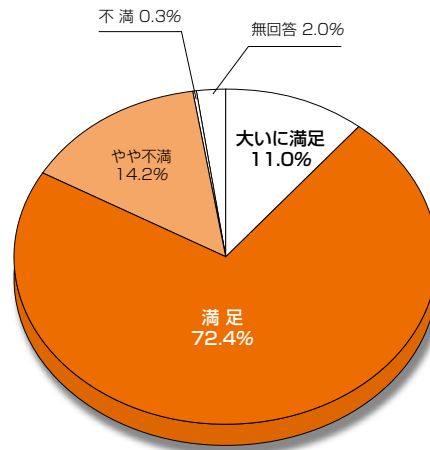
—— 展示会 ——

	n=2127	%
大いに満足	270	12.7
満足	1539	72.4
やや不満	279	13.1
不満	17	0.8
無回答	22	1.0



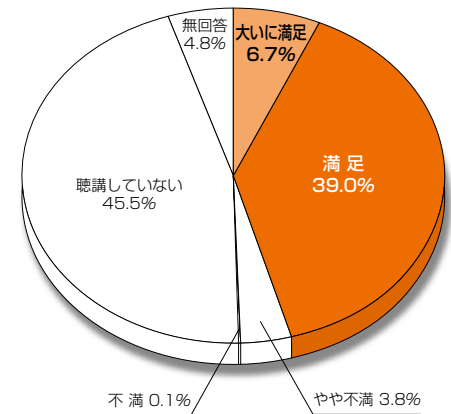
—— テーマ展示ゾーン ——

		%
大いに満足	233	11.0
満足	1541	72.4
やや不満	303	14.2
不満	7	0.3
無回答	43	2.0



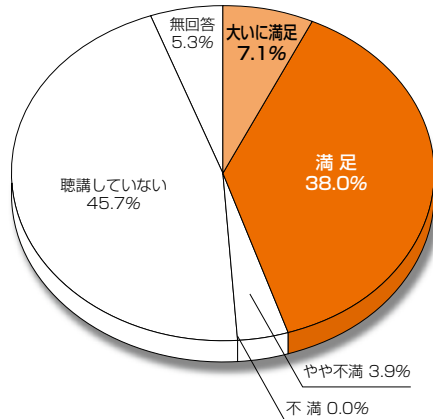
—— 基調講演 ——

		%
大いに満足	143	6.7
満足	830	39.0
やや不満	80	3.8
不満	3	0.1
聴講していない	968	45.5
無回答	103	4.8



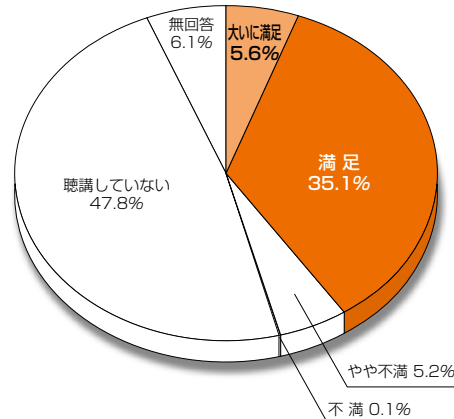
—— ラウンドテーブルセッション ——

		%
大いに満足	150	7.1
満足	808	38.0
やや不満	84	3.9
不満	1	0.0
聴講していない	971	45.7
無回答	113	5.3



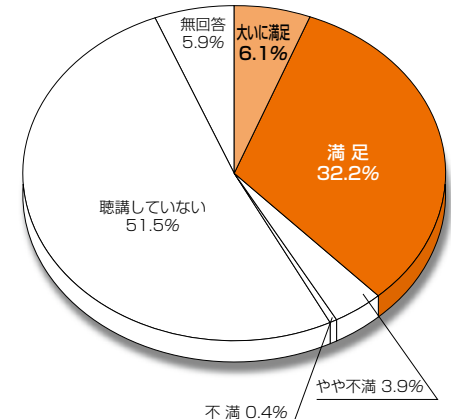
—— フォーカスセッション ——

		%
大いに満足	120	5.6
満足	746	35.1
やや不満	111	5.2
不満	3	0.1
聴講していない	1017	47.8
無回答	130	6.1



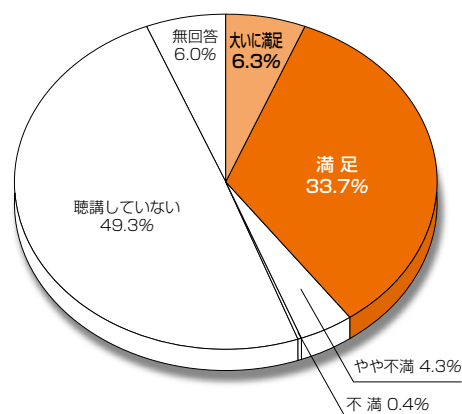
—— JEMIMA委員会セミナー ——

		%
大いに満足	129	6.1
満足	685	32.2
やや不満	83	3.9
不満	8	0.4
聴講していない	1096	51.5
無回答	126	5.9



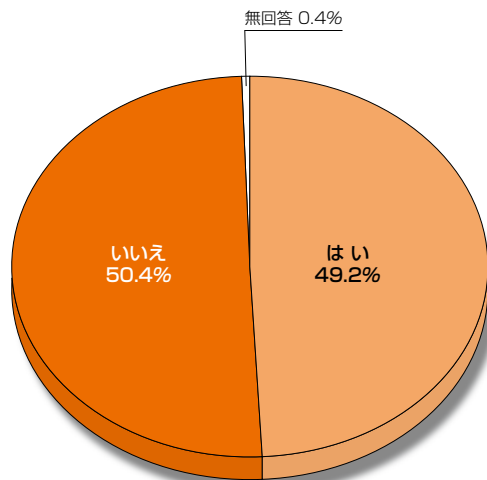
—— テクニカルセミナー ——

		%
大いに満足	134	6.3
満足	717	33.7
やや不満	92	4.3
不満	8	0.4
聴講していない	1049	49.3
無回答	127	6.0



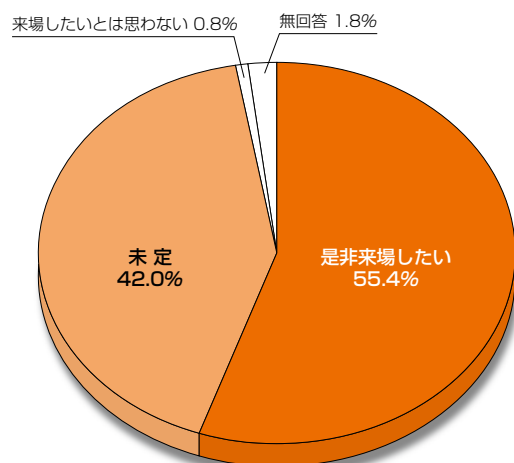
Q. 過去に「計測展 OSAKA」へご来場いただいたことがありますか。

	n=2127	%
はい	1046	49.2
いいえ(今回が初めて)	1073	50.4
無回答	8	0.4



Q. 次回の「計測展」(2012年)にも来場されますか。

	n=2127	%
是非来場したい	1178	55.4
未定	894	42.0
来場したいとは思わない	17	0.8
無回答	38	1.8

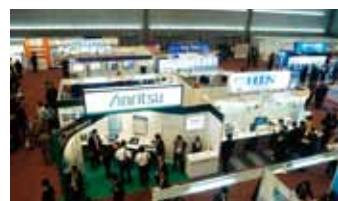




計測展
2010 OSAKA

ケイソクは、チカラなり。
そして計測展は、次のステージへ

計測展
2011 TOKYO





社団法人 日本電気計測器工業会
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

[本 部] 計測会館

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町 2-15-12

TEL.03-3662-8181 FAX.03-3662-8180

[関西支部]

〒530-0047 大阪市北区西天満 6-8-7 電子会館

TEL.06-6316-1741 FAX.06-6316-1751

www.jemima.or.jp